

標語部門

「テーマ」障がい者の人権
助け合い分かり合い
新たな未来を
作るとき

「テーマ」性的指向・性自認
『自分らしく』
生きるその思いを
大切に

「テーマ」ジェンダー平等
認め合おう
みんなが持つてる
素敵な個性



大崎中学校3年

もりしたのあ
森下乃愛さん



大崎中学校2年

しみずゆい
清水結唯さん



大崎中学校1年

もりかわりりか
森川莉々華さん



最優秀賞

『外国の人と
たくさん話をしよう』

持留小学校 6年

ながたふぶつか
永田楓佳さん

現在、日本には多くの外国人が住んでいる。私の住む大崎町でもよく見かける。その外国人にとって、日本は住みやすい国だろうか。差別はないだろうか。私は、今年の夏、そんなことを考えた。

なぜ、私がそのようなことを考えたかというと、ニュースで外国人差別を目にしたからだ。ある日、テレビを見てみると、アメリカで、アジア出身の人が、暴力を受けているというニュースが流れてきた。さらに見ていると、アジア出身の人が道を歩いているところを、若い男の人が後ろから強く押していた。押された人は倒され、しばらく立ち

上がれない様子だった。ニュースの解説では、新型コロナウイルスを拡大したが、アジア人だと考えられている、このような事件が起こったのではないかと考えていた。

私は腹が立った。新型コロナウイルスは、だれのせいでもない。好きで広める人もいない。それなのに、それをアジア人のせいにするなんて、許せない。私はそう思った。

一方、日本ではどうだろうか。日本でも新型コロナウイルスを理由に外国人への差別はないだろうか。インターネットで調べてみると、日本でも外国人差別があったようだ。悲しいことだ。

どうして、外国人差別が起こるのだろうか。外国人差別をなくすためには、どうすればいいのだろうか。私は太平洋戦争から外国人差別について考えてみることにした。

まず、曾祖母にアメリカと日本が戦争をしていたときのことを聞いてみた。曾祖母は、アメリカと戦争しているとき、アメリカ人はこわいと思っていたそうだ。そして、「鬼畜米英」という言葉があったというのを教えてくれた。「鬼畜米英」とは、その当時、日

本と戦争をしていたアメリカとイギリスを指す言葉で、アメリカとイギリスは、けだもののような国という意味だ。

私は、戦争中だからといって、そんなひどい言葉があったなんてびっくりした。そして、こういう言葉が出るくらい日本とアメリカ、イギリスは仲が悪かったんだなと思った。

また、アメリカでも日系人を強制収容所に閉じこめていたということが分かった。アメリカでは、日系人をアメリカの文化になじまない人たちであり、戦争をしている敵国の人たちとして、強制収容所に入れていた。

私は、このような事実から、外国人差別は、お互いに相手を理解しようとしていない、相手を自分と同じ人間として見ていないから起こっているのではないかと思った。

では、どうすれば外国人差別はなくなるか。それは、お互いにたくさん話をするのだと思う。話をする事で、相手のこともよく分かり、親近感もわくと思う。

これから、私は積極的に外国の人と話すぞ。そう思った今年の夏だった。